

2020 年令和初の新年を迎えながらこの編集後記を執筆しています。昨年もさまざまな話題がありましたが、今年もオリンピック・パラリンピックをはじめとするビッグイベントが予定されており、大変しみな 1 年です。パラリンピックはイギリスのストーク・マンデビル病院における傷痍軍人の競技会が、国際競技会へと発展し、1960 年ローマオリンピックの際に第 1 回パラリンピック夏季大会が行われております。1964 年東京オリンピックで第 2 回パラリンピック夏季大会が開かれましたが、その後のオリンピックとパラリンピックの同都市開催は必ずしも継続されておらず、今年の東京は世界で初めて同都市開催が 2 回目となる大会のようです。また、1964 年と同様にパラリンピックの開催にあわせ、国際脊髄学会 (ISCoS, 前回は国際パラプレジア医学会) が日本で主催され、日本脊髄障害医学会と合わせて脊椎脊髄病変に関わる日本医師の参画がおおいに期待されています。

さて、今回の特集は「脊柱靱帯骨化症 UP TO DATE」です。頸椎後縦靱帯骨化症をはじめとする脊柱靱帯骨化症は本邦をはじめとするアジア諸国にとっては頻度の高い疾患であり、その疫学や発生誘因、臨床的特徴、外傷に関連したリスクなどを整理しその実態を把握することは大変重要です。特に外科治療を要する難治性脊柱骨化病変において、最良の外科治療時期や方法を探求することは外科医の使命ともいえます。本誌では刷新された脊柱靱帯骨化症診療ガイドラインの要旨や改訂のポイントが川口先生より提示されております。今後、さらに世界に向けガイドライン情報を発信すべく準備されていることは大変誇らしいことと思います。また、より信頼性の高い多施設研究の結果も多く含まれており、胸椎後縦靱帯骨化症、胸椎黄色靱帯骨化症も含め実臨床に役立つ内容が網羅されています。

今回の特集はまさに現時点での脊柱靱帯骨化症の知識をアップデートするには最適な論文が満載されております。改訂された脊柱靱帯骨化症診療ガイドラインとともに熟読すべき一冊となっています。

(高橋敏行)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 高橋 昭 金田清志
小山素麿 小柳知彦 田代邦雄
国分正一 服部孝道

編集委員

徳橋泰明 (編集委員長)
金 彪 (副編集委員長)
青木茂樹 亀山 隆 園生雅弘
高橋敏行 高安正和 谷 論
永島英樹 中村雅也 根尾昌志
飛驒一利 松山幸弘 山崎正志

Vol. 33 No. 2
(2020 年 2 月 25 日発行)

毎月 1 回 25 日発行

1 部定価 (本体 2,500 円 + 税)

(配送料別)

年ぎめ予約購読料 33,300 円 + 税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2020,
Printed in Japan

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。